

英駐秘第

入號

馬英山口秘第七号

大正八年三月十日

大正八年三月十日



英國駐在海軍中佐山口熊平
海軍次官折内曾次郎殿

報告書一件

一、英國大艦隊、制空施設說明附寫真帖一冊
右提出ス

終

0223

駐英山口秘第七号

英國大艦隊、航空施設

説明附
写真帖

0225

内容目次

大艦隊ノ航空施設概況

第一、軍艦ノ飛行機搭載状況其二

第二、軍艦ノ飛行機搭載状況其三

第三、前部飛行機

第四、前部滑走台ノ前半部

第五、前部飛行機ノ発艦

第六、十二吋砲塔上滑走台及飛行

機ノ発艦

第七、飛行機搭載作業

第八、後部滑走台

第九、後部飛行機及滑走台後部

第十、後部飛行機ノ発艦

第十一、繫留気球

第十二、本艦ノ曳留発射ヲ繫留気球

ヨリ撮影セル写真

第十三、飛行機母艦「アール」ノ全景

第十四、飛行機母艦「アール」ノ後部

第十五、老母艦「カムパニ」ノ沈没

第十六、母艦「アール」

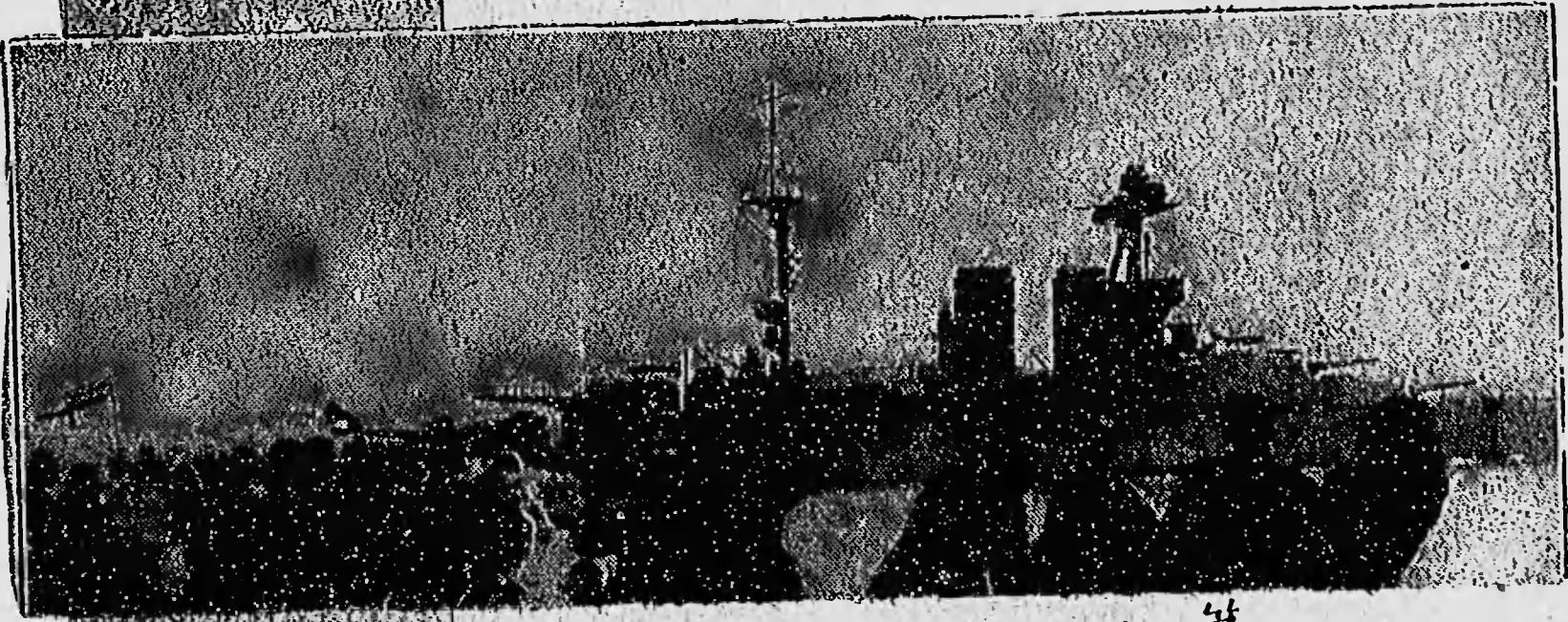
第十七、母艦「ヴァンダイクタイプ」

(目次終)

大艦隊ノ航空施設概況

英國大艦隊ノ航空施設ニ對スル方針ヲ忖度スルニ各種航空機ノ特性ニ應ジテ用途ヲ区定シ以テ各其全能ヲ發揮シテ艦隊ニ快カセラルニ在ルカ如シ

其ノ經過ヲ畧述スルニ大正六年未迄畧実験ヲシ七年初頭ヲ實施ニ著キシ今年春ノ半頃ヨリ漸次施設ノ速度ヲ増加シ特ニ初秋ヨリ異常ノ勢ヲ以テ進展中十一月下旬獨國大海艦隊主力ノ投降ニ會シタルモノニシテ其ノ採用航空機ハ主トシテ二人乗水上飛行機、二人乗偵察兼戦闘飛行機、一人乗戦闘飛行機及三人乗繫留氣球ノ四種トス而シテ前者「爆彈投下ニ適シ中ニ者」水上ヨリ發著スル能ハサルモセム無ク水上ニ降著セシ場合ニ水中ニ沈没セサルノ構造ヲ有ス 思フニ之ニ等ノ兵器「休戰當時セシ海軍戰鬥力有効ニ要素タル」域ニ達シ其航空施設「業」艦隊兵術ノ實施上缺ク可ラザル單位トナレリ加之將來偉大ノ發達ヲ遂クキ氣勢ノ横溢セルヲ見ル。

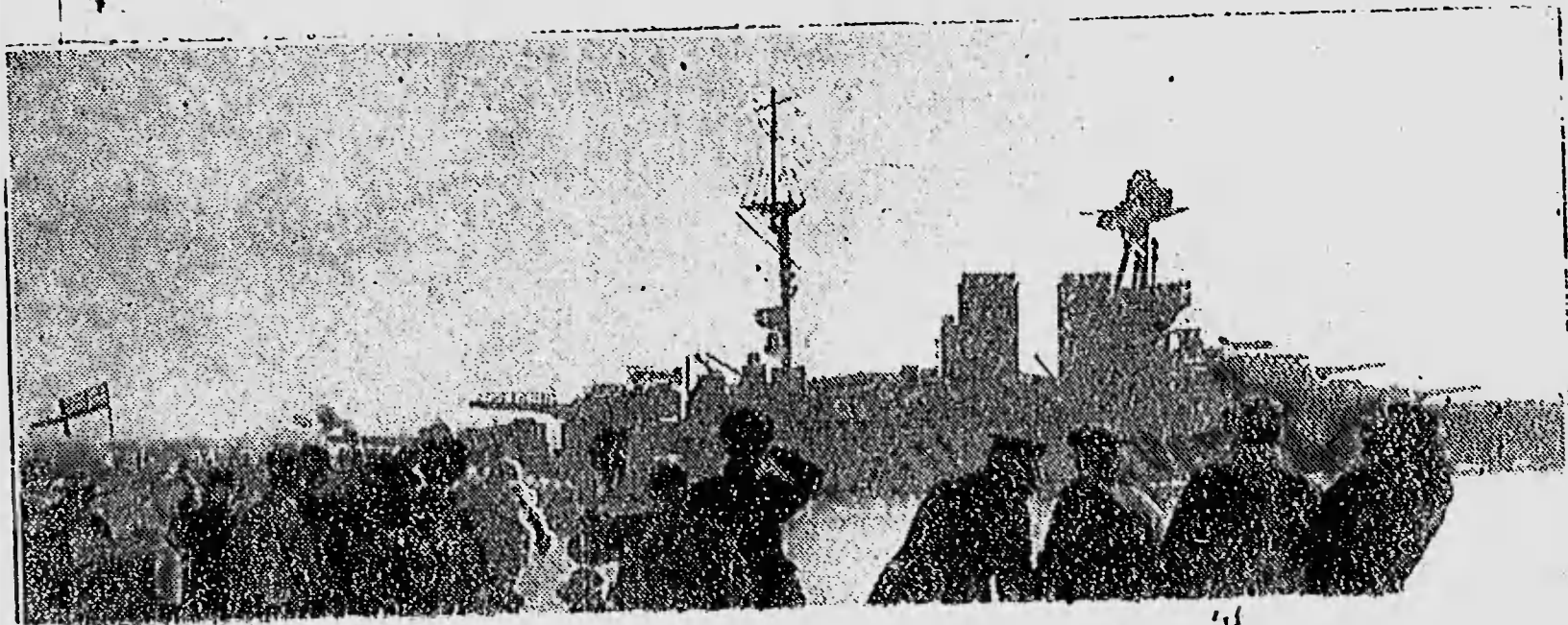


二 第

第六軍艦ノ飛行格搭載状況其ニ

戦艦、ウースバイトナリ

銃骨線上ニ四砲塔ヲ有ル艦ニ皆
如斯ニ三番砲塔ヲ飛行格ノ為
ニ利用シ、五砲塔ノ艦モ亦其ノニ、
三番砲塔ヲ用テ艦ノ中部艀側
ニ接シ砲塔ヲ有ルモノハ此ノ砲塔
ヲ用ス、要スルニ、第一、飛行格ノミテ
発艦ノ降成ニシテ速ニ艦上ヲ去ラシム
コト第二、其降成ニシテ甲板上ヨリ高
キ位置ヲ保タシムコト 第三、定位
ニ固定中海水ヲ浴シ或ハ其ノ飛出シ
ノ要ムコトヲ或ハシクサカシムコトヲ考慮
セルモノナリ、 後部ニ二人乗リ搭載
セルモノ少ク多ク前部ニ二人乗後部
ニ一人乗ナリトス。



二 等

第六軍艦ノ飛行格搭載状

戦艦、ウーリスガイムナリ

銃より線に四砲塔有り艦比
 他斯ニミヨ砲塔 飛行機ノ
 ニ付用シ、五砲塔ノ艦モ亦其ノニ
 ニ砲塔ノ用ヲ能ク中却艦側
 ニ其ノ砲塔ヲ用スルモノハ此ノ砲塔
 リ用ク、要スルニ、第一、飛行機、コト
 登艦ノ際、以テ、艦上ノ去リ、
 コト第二、其ノ塔成ニ、甲板ニヨリ高
 ナ位置ヲ保タシ、コト 第三、定位
 ニ因、中、海水、流レ、其ノ塔、
 艦上ノコト、ハ、コト、考、
 セル、コト、ハ、後、新、ニ、人、身、ノ、格、載、
 セル、モノ、少、ク、多、ク、前、知、メ、テ、策、後、印、
 二人乗アリトス。

0231

0230

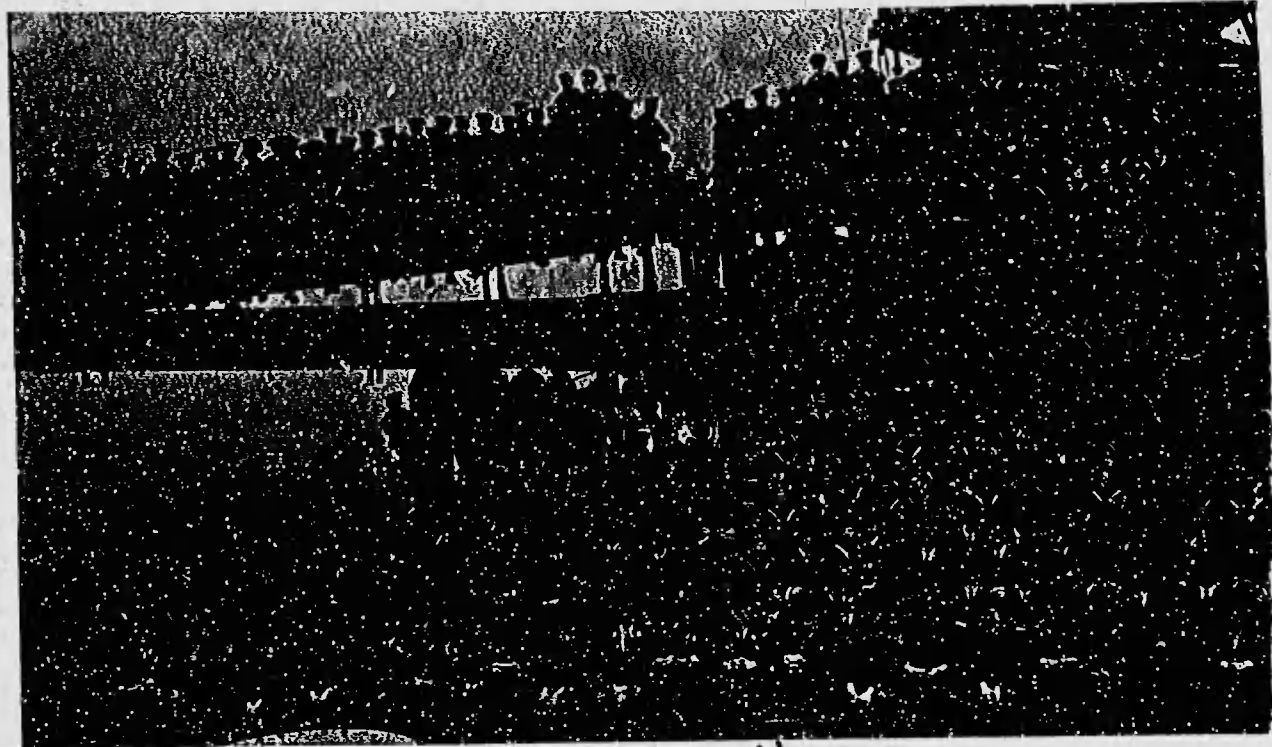
0233 0232

第三、前部飛行機

二百馬力二人乗偵察兼戦闘飛行機、無線電信機及電氣発光信号器ヲ所有ス最新ノモノリ其ノ最高速カ百三十五節ノスピードヲ得ル
航隊會戰中、彈著觀測及敵情偵察ヲ主務トス、墜落シテ之ヲ實見スニ、敵艦ニ相対シ有効ナリ
大正七年十月、初旬頃、殊ニ艦橋狙撃ノ練習ヲ為スル見タリ。



三三

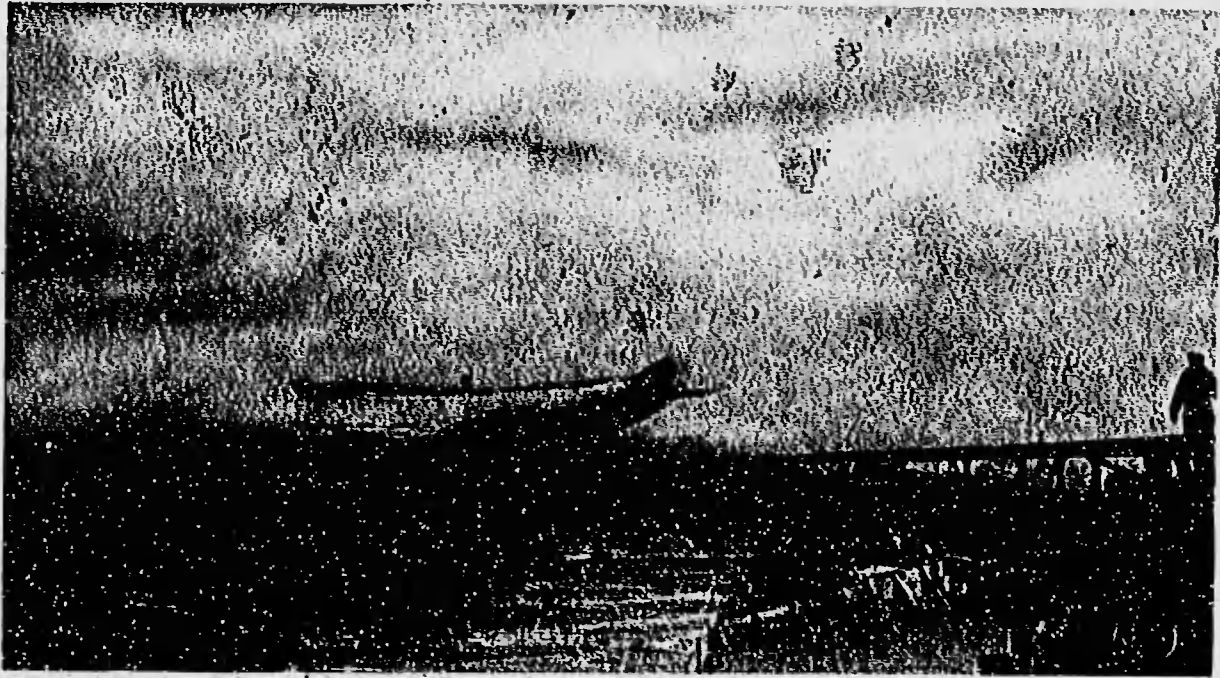


四第

第四前部滑走台前半部
 前部飛行機ハ二人乗上為後
 部ノモノ比之ハ系統動作鈍重
 ナリ以テ滑走台長キヲ要ス故
 ニ砲身上ニ滑走台ヲ設ケ砲
 適當ノ仰角ヲ轉シハ砲塔上滑
 走台ト全一平面トシテ好ミ
 大砲射撃ノ際ハ木板全部ヲ
 除去シ鉄筋ミヲ残置ス時
 撃力カ砲口附近ノ鉄筋重
 曲セルトアリ特ニ此ノ部モノヲ強
 固ナラシムル必要アリカ如シ

0235

0234



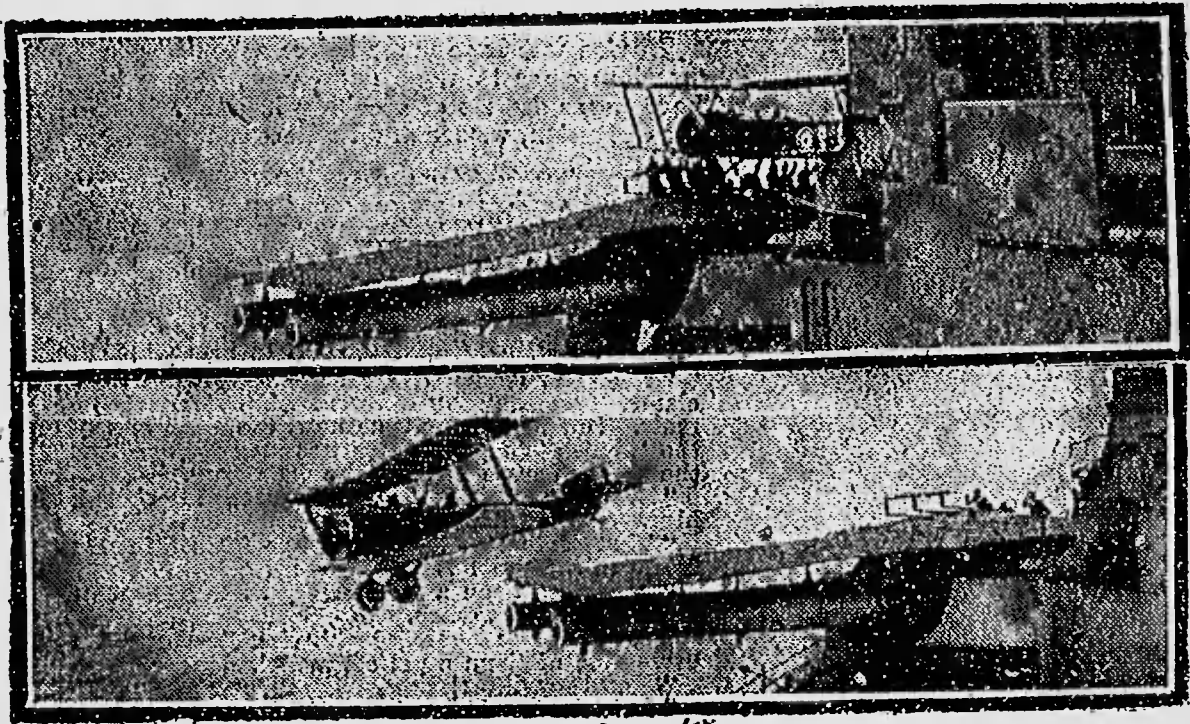
五第

第五 前部飛行機、発艦

風力約二時風正横前約四兵
 ニ受ケ本艦速力十六節ノミテ航
 走中風ニ直向ニテ發艦スルノ最
 容易ナリトス
 無風トキ或ハ風力弱キトキハ本艦
 速力大ナラシメノガレハカクハ本艦速力
 ナ大ナラシムルコトハ風力弱キ者ヲ受ケ
 ルコトナルヲ以テ飛行機カ揚進台
 ヲ離レル後本艦甲板上ヲ飛翔
 スル時尙長キコトナリ頗ル危険
 ナリ、如何ナル場合ニテモ船速
 余ク高キハ危険ヲ醸ス原因トナ
 ルコトニ注意スルヲ肝要トス

0237

0236

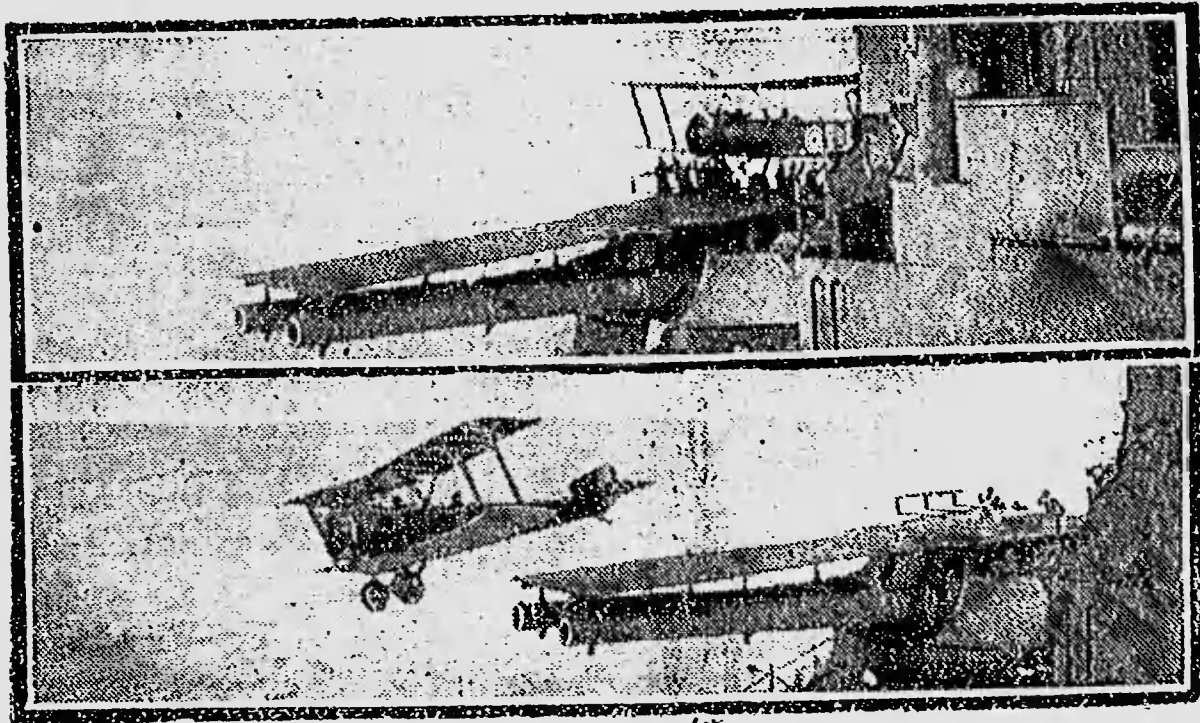


第六

第六、十二時砲塔上ノ滑走台及
 飛行機ノ発艦
 巡洋戦艦「ネービーロード」ノ艦側砲
 塔上ノ滑走台及二人乗飛行機ノ
 発艦状況ナリ。
 二人乗飛行機ノ滑走台^{トモコ}十二時砲塔^{トモコ}ノ
 カ先ッ其ノ最前限ナルニ

0239

0238



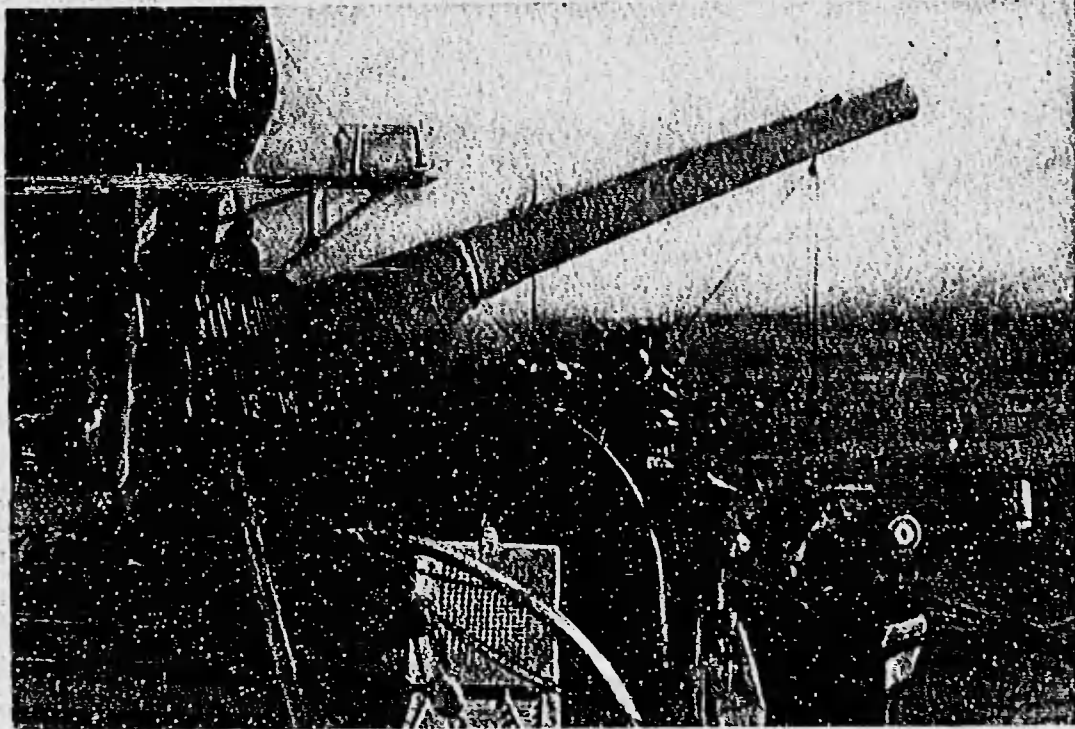
第六

第六、十二時砲塔上ノ滑走台及
飛行機ノ発艦

西洋戦艦「エージ」ノ艦側砲
塔上ノ滑走台及二人乗飛行機ノ
発艦状況アリ。
二人乗飛行機ノ滑走台十二時砲
塔上ノ滑走台ノ限ナルニシ

0239

0238



第七

第七. 飛行機搭載作業
 砲ヲ以テ飛行機ヲ運搬スル
 本艦甲板ニ取リ入レ機ノステイ
 ミ「ホルキ」ニ取リ付テ之ヲ曳ク
 滑走台上ニ引キ上ケ搭載スル
 例トス

0241

0240

第八



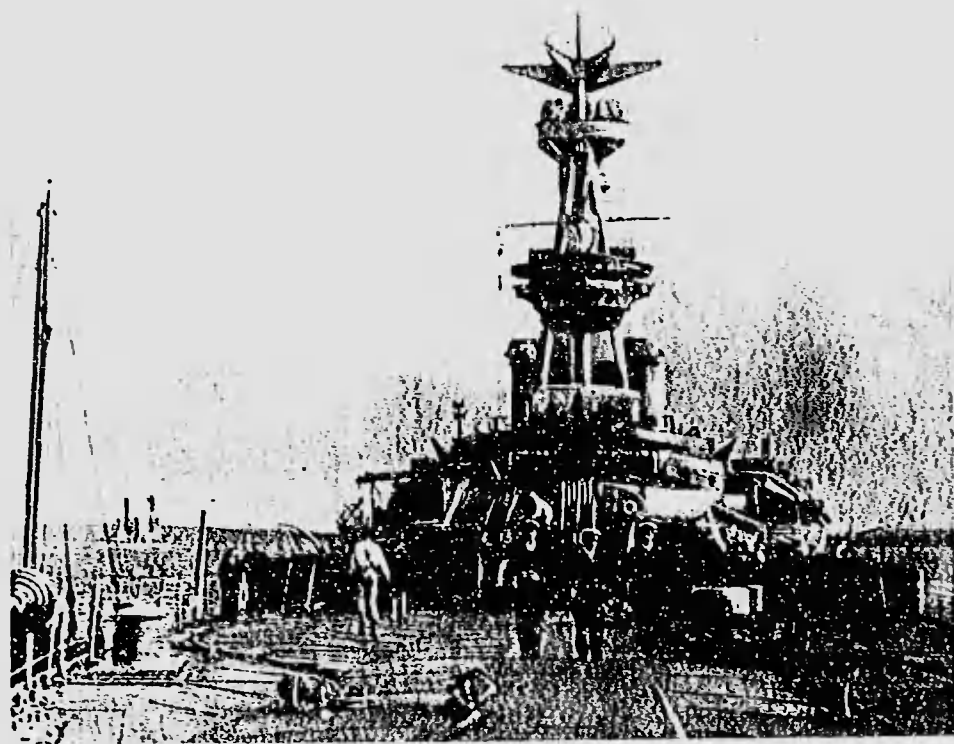
第八 後部滑走台

後部飛行機、輕快な多段
砲身上、滑走台ヲ設ケルニ機
ノ前部より十五呎以上、滑走距離
離リ得、如ク砲塔上ニ滑
走台ヲ設ケルニ充分ナリ而シテ
此、機舎ノ機首ノ砲尾ニ而シ
搭載シ其ノ方向ニ発射セシ
ムルヲ要スルモノトナ
思フハ、八吋砲塔及砲ヲ以テセル滑
走台ハ一人乗飛行機ノ発射
ニ差支ナカレシ。

0243

0242

第八

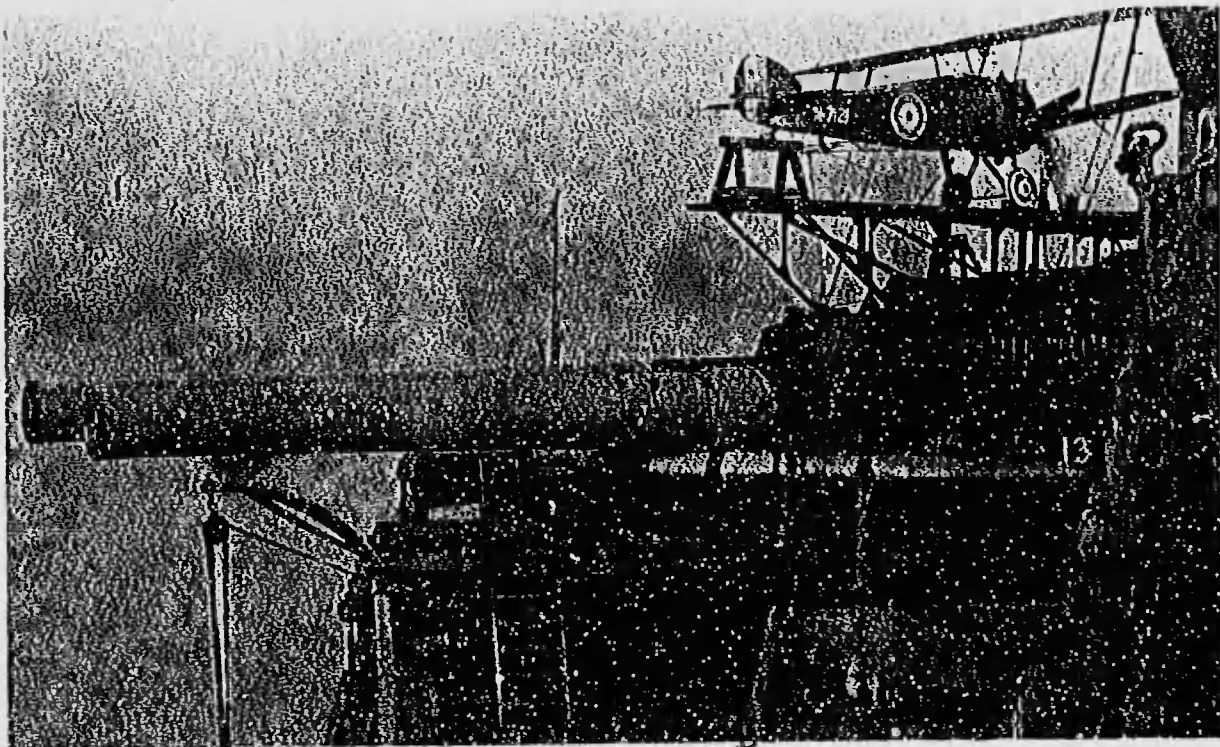


第八、飯、川、遊、遊、台

此、祝、祭、儀、に、由、り、て、
死、ノ、上、に、臨、ミ、台、ヲ、入、ル、ル、事、
ノ、儀、有、リ、十、九、次、以、テ、一、回、ト、シ、
音、ノ、響、ク、時、ハ、唯、リ、能、ク、上、ニ、
去、ル、ル、事、ハ、先、カ、ナ、リ、而、
此、ノ、場、合、ニ、檢、査、一、休、尾、ニ、
考、察、シ、其、方、面、ニ、登、航、シ、
ム、ル、要、ス、ル、ト、
思、ハ、八、回、死、儀、及、此、ノ、儀、
走、台、ハ、一、人、兼、登、ル、儀、
ニ、モ、ト、ス、ル、

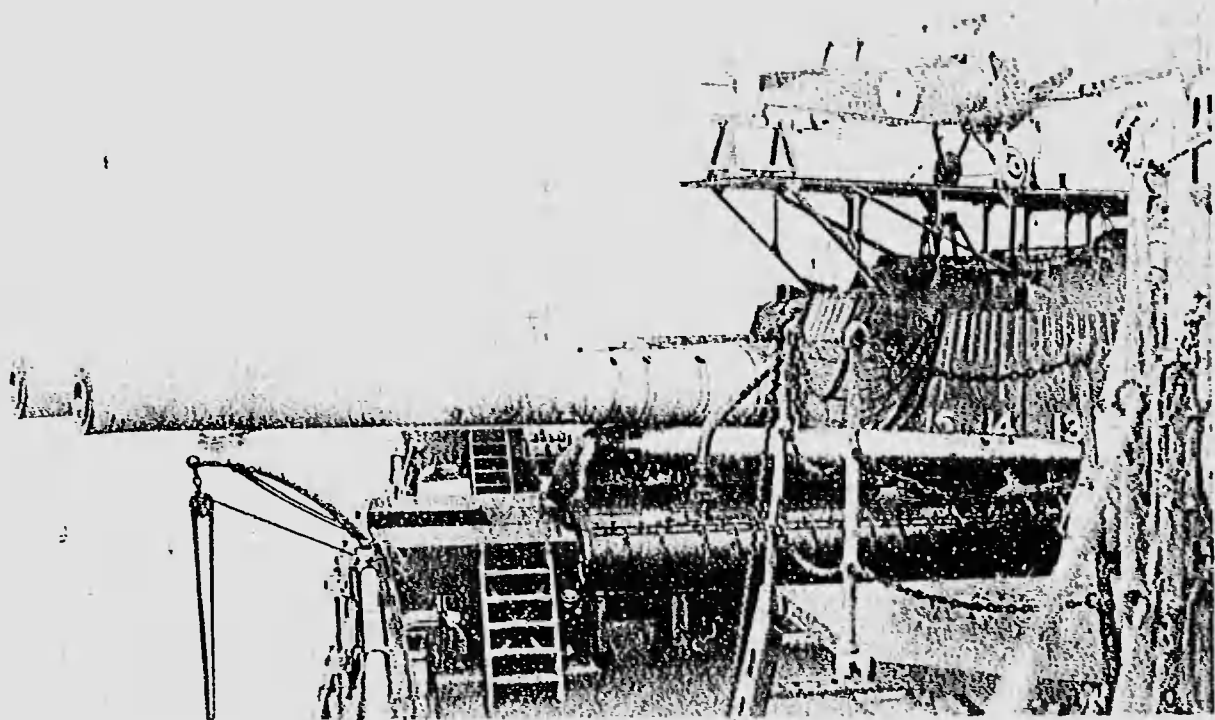
0243

0242



九 第

第九、後部飛行機及滑走台後部
 百五十馬力一人乗戦闘飛行機ヲ
 最高速力百三十節ノスピードヲ
 砲ニ最大仰角ヲ與フニモ滑走台
 ニ當ルコト無シ砲塔上ノ固定脚支
 台ニ新設機多孔鉄板ヲ以テ
 造ラレタルモノナリ
 機ノ後端ヲ托ル木馬ト、鋼線
 索等ヲ用ヒ機ヲ滑走台ニ固
 定セル状ニ著目スルヲ要ス
 本機ノ主務ニ敵ノ航空船ヲ攻
 撃シ敵機ヲ撃滅スルニ在リ。

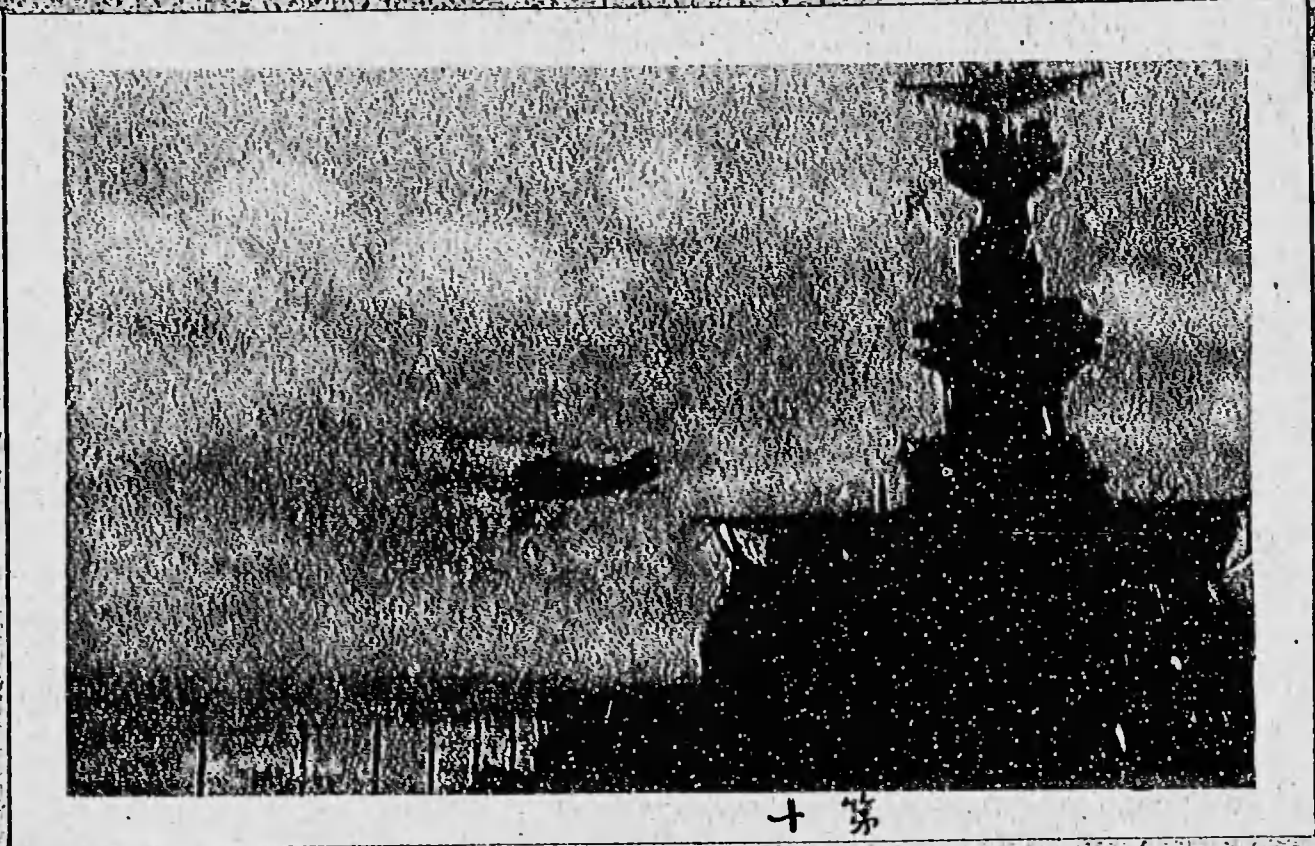


九

第九後部飛行、及滑走台、
 百五十匹力、人乗、戦闘飛行機、
 最速は、毎分三十秒、
 此は最大仰角、滑走台
 ニ当ルコト、無シ、砲塔上ノ固定滑走
 台、前部、昇降機、
 若シ、レ、モ、
 松ノ、後部、昇降機、木馬ト、鋼線
 索、等、ヲ、用ヒ、滑走台、
 俾セ、ル、状、ニ、著、ス、ル、要、
 本、機、ノ、主、務、ハ、敵、艦、ヲ、
 撃、シ、テ、敵、艦、ヲ、撃、破、ス、ル、ニ、在、リ、

0245

0244

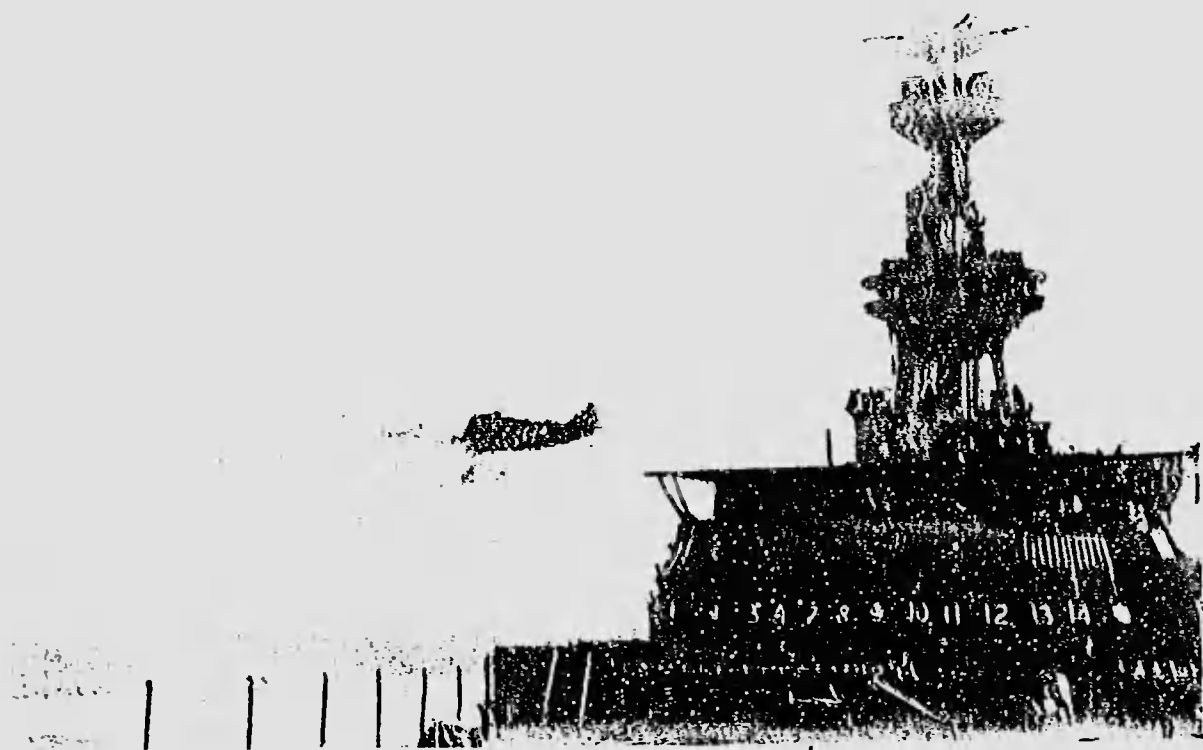


第十

第十、後部飛行機、奈艦
 後部飛行機モ前部飛行機
 奈艦ニ関テ説明セト同一ノ直
 面風速ヲ有ニ時最容易ニ奈
 艦ニ得、但シ此ノ飛行機ノ乾
 快ナルヲ以テ如何ニ場合ニモ其
 ノ奈艦状態、前部ノモノニ比
 スルニ平易ナリ、

0247

0246



第十

第十、後沖飛行機、空艦

後部、飛行機、モ前部、飛行機、
 空艦ニ関シテ説明セリ同一ノ五
 面、風、味、リ有ル時、最、容易、ニ空
 艦ニ得、但、此、飛行機、ノ、輕
 快、ナ、リ、以、テ、如何、ニ、場合、ニ、モ、其
 ノ、空、艦、状、態、ノ、前、部、ハ、モ、比
 ス、心、平、易、ナ、リ、

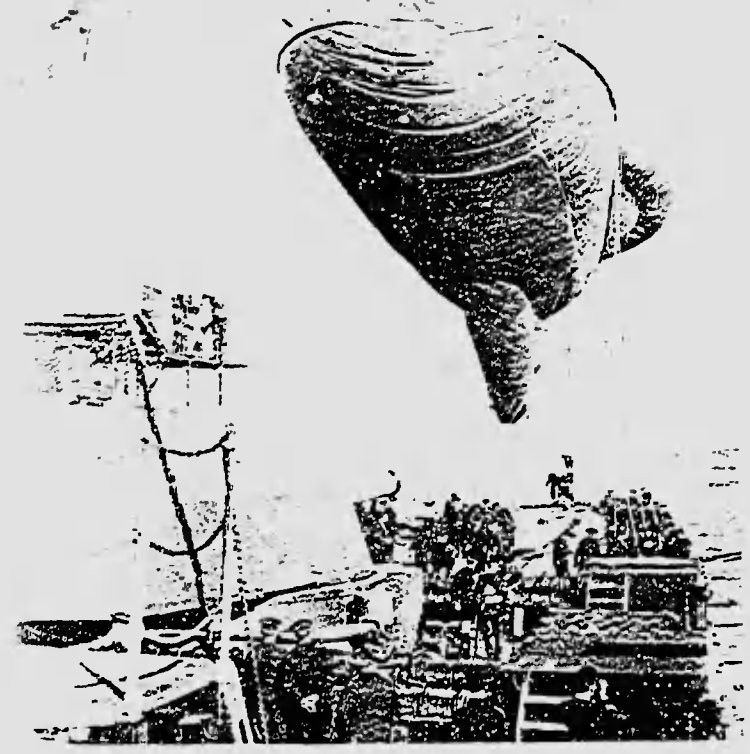
0247

0246

第十一 氣球の飛行

昇揚準備は、後甲板に敷設した、充気ポンプ、
氣球を空に送り出すための、鋼線、高さ、百五十九メートル、
電線、長さ、二百メートル、氣球、一人、乗る。本機、維新、船橋、電
氣、局、にて、撮影。

本機、維新、船橋、電氣、局、にて、撮影。
昇揚、準備、は、後、甲板、に、敷、設、し、た、充、気、ポ、ン、プ、
を、用、い、て、鋼、線、を、引、上、げ、る。鋼、線、の、長、さ、は、
百、五、十、九、メ、ー、ト、ル、に、達、す。電、線、の、長、さ、は、
二、百、メ、ー、ト、ル、に、達、す。氣、球、は、一、人、を、乗、せ、
て、空、に、上、り、ま、す。本、機、は、維、新、船、橋、電、氣、局、
に、て、攝、影、さ、れ、ま、す。

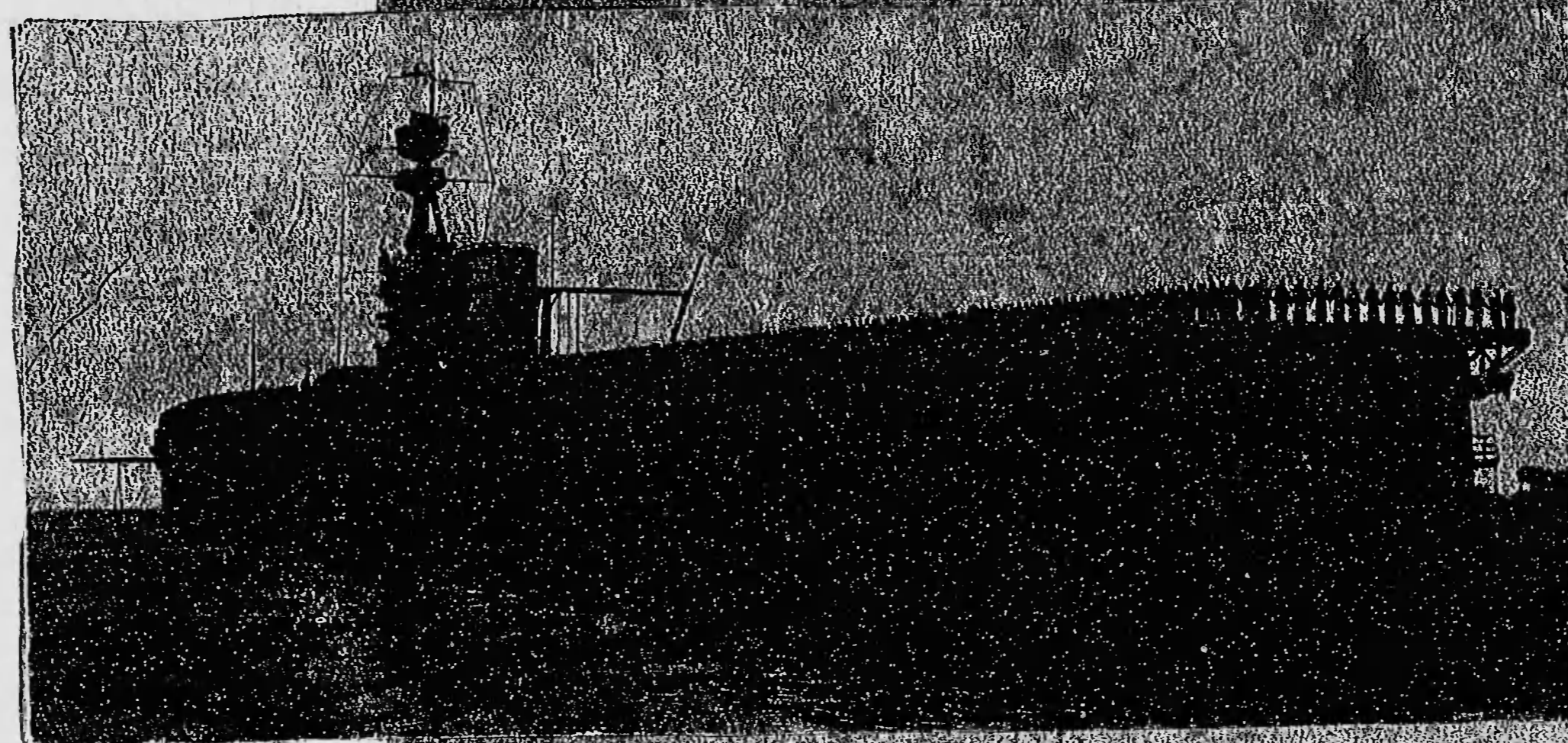


一十第

第十三 本艦の魚雷發射ヲ數回留來球ヲ撮影セル写真

速力二十五節にて航走中本艦より三發の魚雷ヲ發射セルモノ
四百呎の高サに在り數回留來球ヲ撮影セルモノナリ
山口ノガハリスニ在り艦中ノ全船ノ發射セル魚雷ノ總數ハ三十五
本ニテ發射セル魚雷ノ皆無ナリ此ハ魚雷ノ優良ナル
ニ因リ處マテモ亦數回留來球ヲ用テ發射セルモノナリ
セルモノ此ハ利益有リトシテ又魚雷ヲ發射セルモノハ故
障ノ存否ヲ悉知スルヲ得テ向接ノ水雷術ノ進歩ヲ
實感セルモノ莫大ナリ又魚雷射出状況ノ撮影ハ
發射機及發射管ノ研究ニ直接ノ裨益有リトス





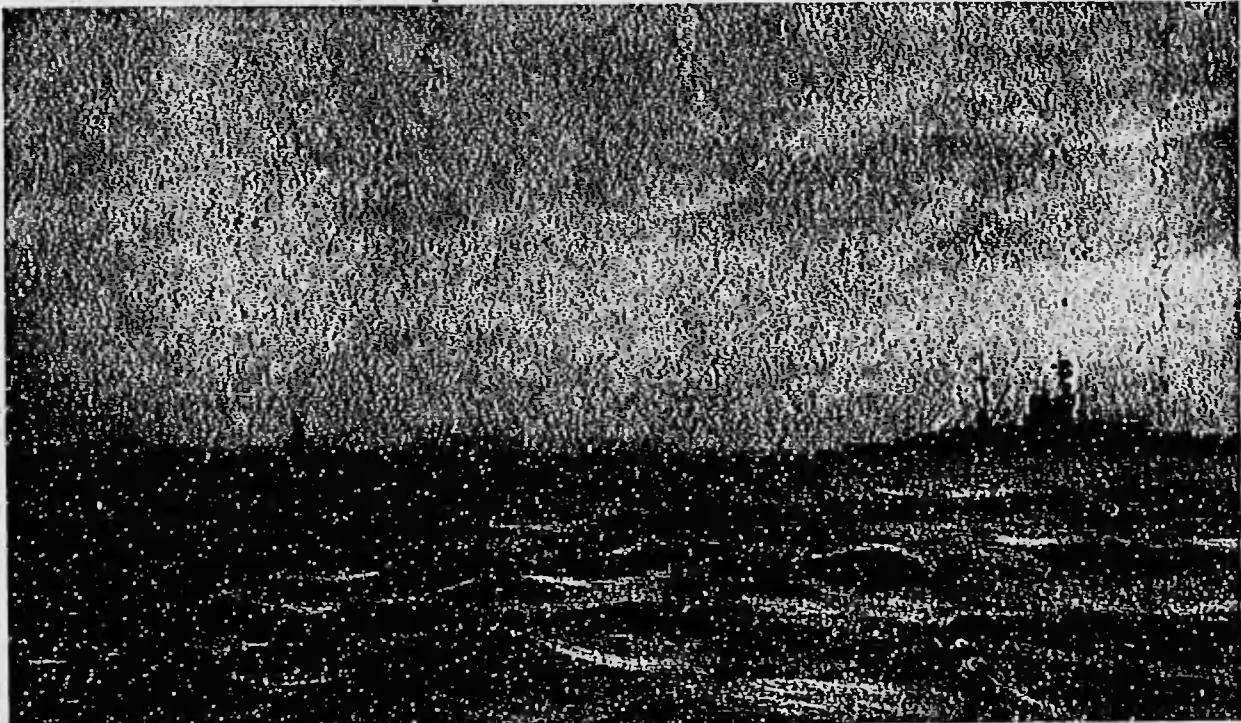
第十四

第十四 飛行機母艦「ユウゴ」

後部

アキリス、著航滑走台、前方に大
 烟突アリ、其、後方に接して空
 氣ノ渦巻ヲ生じ且ツ烟突より噴出スル
 熱瓦斯ノ為、飛行機ノ著航ヲミテ
 著しく困難ナシムト謂フ、
 著航滑走台ノ安全ナルヲ得ニカ
 種々工夫ヲ凝ラシ居居如キニシテ
 遠くを成効スルヲ思ハシ
 本艦ノ着方向井無關係ノ如何ニ依
 ラズ任意旋回ニ得テ大滑走台
 ヲ設ケルニ著者兩用ノ安全ナルガ

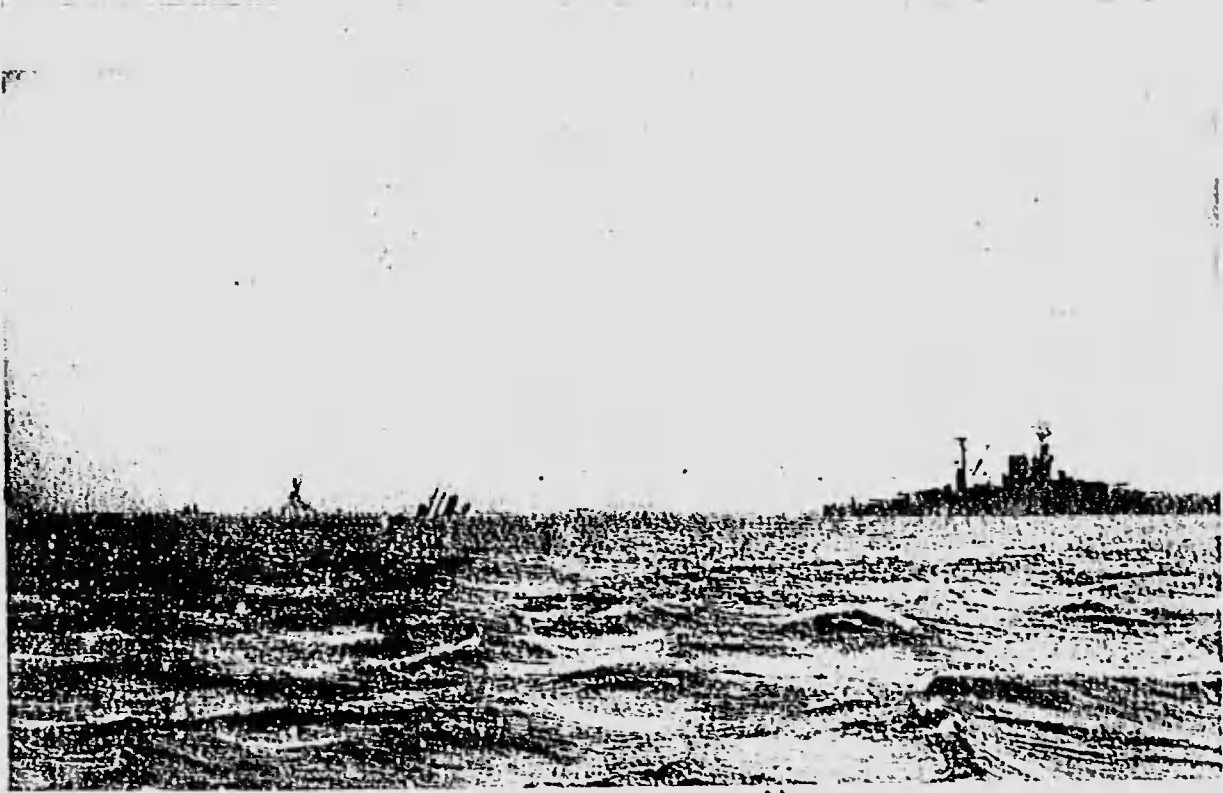
0255 0254



第五十

第十五、老母艦カムカマシ沈没

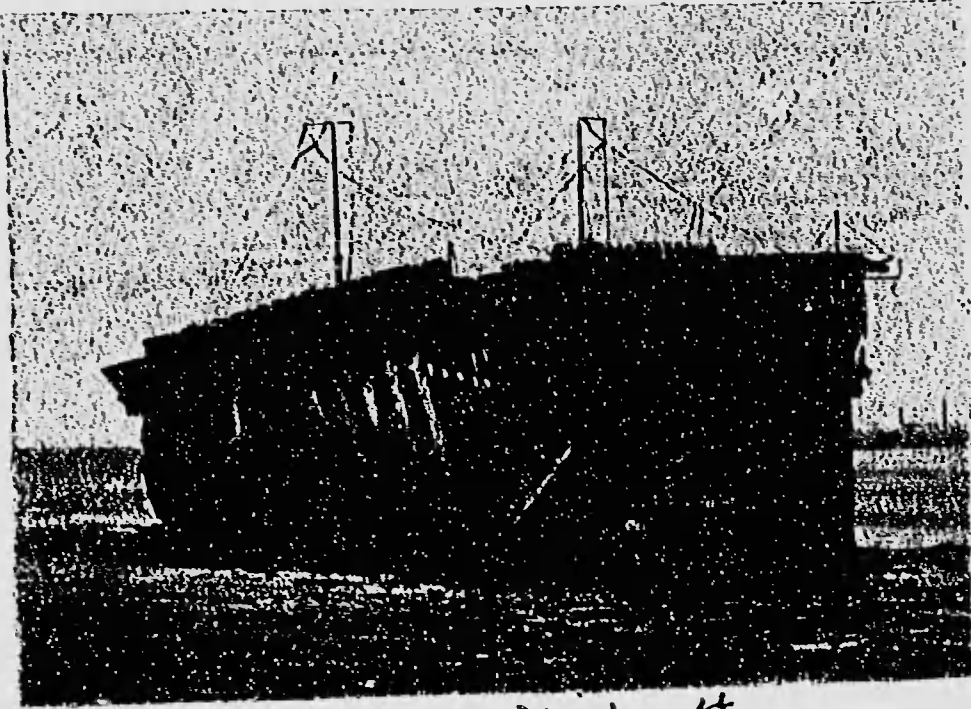
カマシの船齡二十五歳ヲ過ギル一
 八千噸ニ三節ノ微用船ニテ前部
 ニ奈航骨迄台ノ有レ陸水合ヒテ約
 十隻、航空機ノ有ルモノナリ大正
 七年十月五日、サイ区破泊中暴風
 雨ノ為支錯ニ他艦ニ觸衝ハ結
 果沈没セリ、女写真「公艦沈没中
 ノ光景」
 元來如斯老艦ヲ以テ新造ノ艦畧ク
 飛行機、母艦ヲラシトハ怡モ暇由
 ソルル八十歳ノ老媪ニ可愛孫ソ背
 負ハシテ急流ヲ渡ラシルニ美スルモ
 ノチ公艦ノ沈没ハ天ノ皮肉戲也
 ヤ、感アリ、我老母艦（我海軍唯
 一）若宮男トシ侵在ナリヤ
 水上飛行機ノ主務、艦隊根據地海
 面ノ警戒、艦隊戰鬥中ノ危険
 物ヲ見警報ヲ放警水能攻撃ナリ



五十第

算十五、老母航カハニシテ

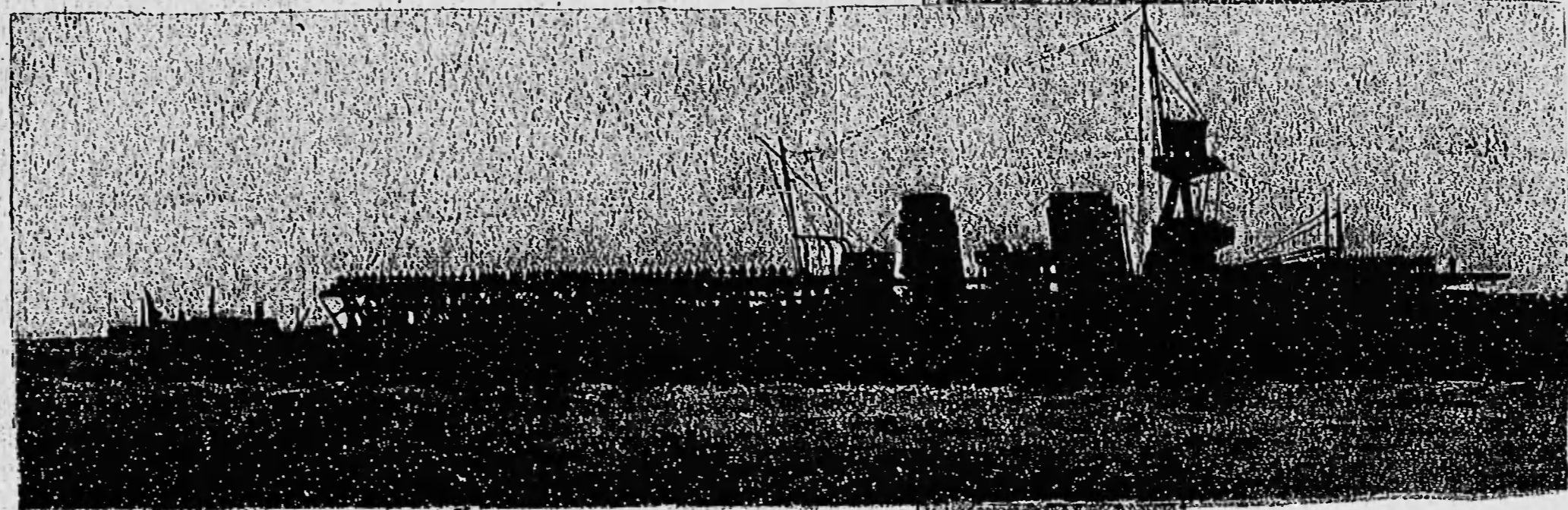
五月廿二日、船ヲ三十五歳ノ船ニシテ
 八千噸ニシテ、船中ニ母ヲ載シテ、
 三奈航路ニ出テ、陸水合ヒ、約
 十隻ノ船、船中ニ母ヲ載シテ、
 七年十月五日、母ヲ載シテ、
 兩ノ、母ヲ載シ、肥後ニ歸リ、
 異次ニシテ、母ヲ載シ、
 ノ老母ヲ
 心未だ、老母ヲ以テ、可直ノ履、
 跪キテ、母ヲシテ、
 ソル八十歳ノ老母ニ可愛シ、
 員ハ、母ヲ急ニ、
 ノチ、母ヲ載シ、
 ヤ、母ヲ載シ、
 一、母ヲ載シ、
 水上、母ヲ載シ、
 正、母ヲ載シ、
 物ヲ見、母ヲ載シ、



第六十

第十六、母艦「アーガス」

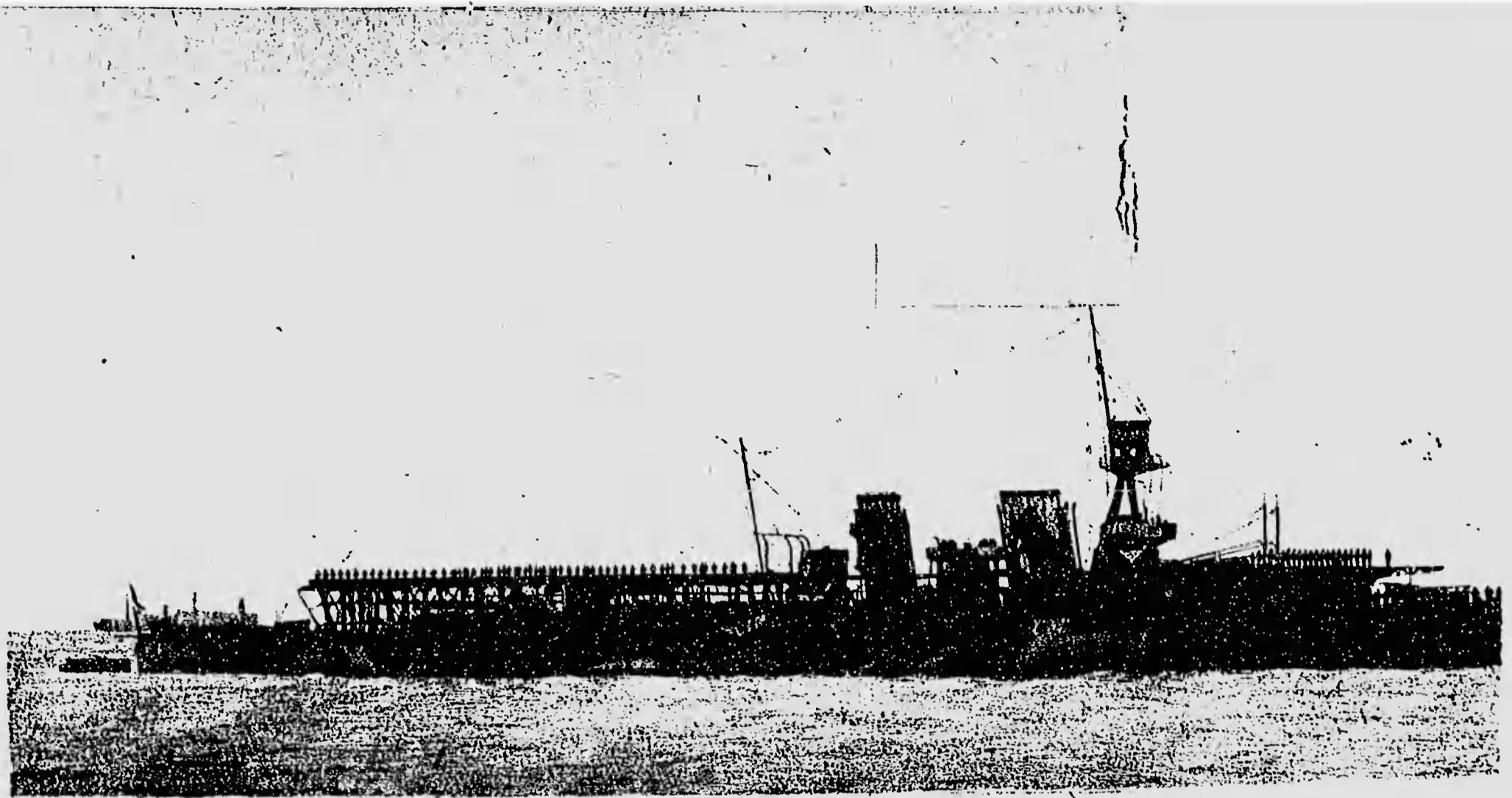
「アーガス」は、大正七年九月廿二日、ロサンゼルス
 来着、大艦隊の編入せむるモノ
 之を艦上全部滑走台、之を復
 らし無煙突あり、但し艦尾、兩舷
 二排煙口あり
 英海軍が飛行機ノ發着、安易
 志母艦ノ得トシテ苦心セル情事
 スキヤリ
 本艦ノ排水量約一丁六千噸、速力
 二十一節、ミラニナ有、余度ノ飛行
 機(中ノ勇雷發射用モノ、モアトノト
 ヲ格納シ居ルト謂フ)
 操舵室ハ羅上式、無線電信機、ハテ
 スコピックレナリ、



第七十第

第十七母艦「ヴァンダイク」
七吋五砲四門、廿吋斜射管六門、
有る九千八百噸、速力三十節、
輕巡洋艦ニシテ、其、發着機台
ノ、趣向、大異、子機台ニ、專シ、
但、著、機、機、台、ノ、狀、筋、ヲ、紐、
テ、柱、ト、セ、ル、ヲ、異、ト、ス、
公、航、大、正、七、年、十、二、月、廿、日、
入、港、大、艦、隊、ニ、編、入、セ、ル、モ、
ナ、リ、

0241 0260



第七十第

第十七母艦「ウイリアム・テンプル」
 七四五噸、四門、廿四発、口径六吋、
 有る九千八百噸、口径三十吋、
 輕便、速航、此ヲ甚ク發見、
 ノ趣向「大畏」アリ、
 但、著艦、
 子、
 公艦、大正七年十一月廿四日、
 ノ艦、大艦隊、
 あり。

0261

0260